

競技注意事項

1. 競技規則について

大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則、2025 WA COMPETITION AND TECHNICAL RULES、競技会における広告および展示物に関する規程、並びに本大会申し合わせ事項に従って実施する。

2. 招集について

- (1) 第一次招集は 1 階雨天走路に設ける招集所にて行う。必ず競技者本人が番組編成にある本人の組・レーンを確認し、ナンバーに○をつけること。その際、競技中に着用するユニフォーム・アスリートビブス・腰ナンバーカード・競技使用予定シューズ・商標の確認を受けて招集を完了とする。
- (2) 5000m、10000m に関しては、第一次招集時に腰ナンバーカードと番号をあわせた長距離専用アスリートビブスを配付する。なお、競技終了後、長距離専用アスリートビブスは競技役員が回収する。
- (3) リレー競技の第一次招集は、出走者 4 名全員が受けること。その際に、アスリートビブス、商標、同一のデザインのユニフォームであるかを確認する。
- (4) TR24.12 に関わらず、リレーオーダー用紙は、第一次招集開始 10 分前までに 1 階正面エントランスに設ける TIC へ提出すること。リレーオーダー用紙を提出しなかった場合、そのチームは欠場とみなす。(「3. 欠場について」参照)
- (5) リレーオーダー用紙提出後の選手変更は、本大会の医務員の判断がない限り認められない。この規則に従わなければチームは失格となる。
- (6) リレーチームの編成は、必ず当該リレーチームでエントリーしている者が 2 名以上含まれていなければならない。
- (7) 同一時間に 2 種目以上出場する競技者、および競技中のため他の種目の第一次招集を受けられない競技者は、第一次招集完了時刻までに重複出場届を TIC に提出すること。
- (8) 重複出場届を提出した場合も、必ず本人または代理人が第一次招集を受けなければならない。その際、重複出場届の控えを持参すること。
- (9) 重複出場届を提出した代理人は第二次招集に参加し、出発係にその旨を報告し本人が来るまで責任を持つこと。
- (10) 種目別、組別の招集時刻は、競技日程に記載の通りとする。
- (11) リレーオーダー用紙・重複出場届・当日欠場届は TIC にて配布する。

3. 欠場について

- (1) 事前に欠場者が判明している場合は、**3 月 14 日(土)正午**までに事前欠場者届を関西学連までメール(icaak.rec@gmail.com)にて提出すること。
- (2) 当日欠場は原則として認めない。やむを得ない場合に限り、当該種目の競技当日に当日欠場届を TIC に提出して承認を得ることで欠場が認められる場合がある。なお、当日欠場届には、本人のサインを記入すること。
- (3) リレー競技の当日欠場についても上記の手続きを満たし、第一次招集開始 10 分前(リレーオーダー用紙提出切時刻)までに当日欠場届を提出すること。

4. 競技者の服装について

- (1) 同一団体は、団体が認めるユニフォームを着用すること。リレー競技に限り、4 人全員が同一のデザインのユニフォームを着用すること。異なる形状のユニフォーム(トップスとショーツなど)を使用する場合も、色・デザインを統一させること。
- (2) アスリートビブスは 2025 年度登録のものを使用し、ユニフォームの胸部および背部に折り曲げたりせず 4 か所を止め、明瞭につけること。ただし、跳躍競技においては胸部または背部の一方だけでよい。

- (3) 全てのトラック競技の腰ナンバーカードは右腰に明瞭につけること。ただし、1500m 以上の種目は両腰につけること。腰ナンバーカードは招集所にて配布する。
- (4) 5000m、10000m に関しては、第一次招集時に受け取った腰ナンバーカードと番号を合わせた長距離専用別アスリートビブスを使用すること。
- (5) 本大会は TR5.2 ルールを適用し、規格外のシューズ使用は全て禁止とする。
- (6) 競技会における広告および展示物規定により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については、HP 掲載の別紙『競技会における広告および展示物に関する規定（国内）』を必ず確認すること。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。

5. 競技用器具について

- (1) 使用器具は原則として競技場備え付けのものを使用すること。ただし個人所有の砲丸、円盤、やり使用を希望する場合は、競技開始の 90 分前から 60 分前に検査を受けて許可を受ければ、使用することができる。検査は南側用器具庫で行う。ただし、検査時間が開門以前となる場合には、正面玄関にて検査を行う。
- (2) 棒高跳用ポールは私物使用を認める。各自で持ち込んだものを使用すること。
- (3) リレー及びフィールド競技のマークは養生テープを使用すること。競技場保護のため、それ以外のテープは認めない。

6. トラック競技について

- (1) トラック種目は次のラウンドを行わない。
- (2) 計時は写真判定 (0.01 秒) とする。ただし、装置に故障等のトラブルが生じた場合、手動計時 (0.1 秒) とする。
- (3) 5000m 以上の競技において気象状況により給水を行う場合がある。
- (4) 救急搬送防止および選手の安全確保のため、主催者が競技者の体調を見て、医師または医務員と協議のうえレースを中止させる場合がある。その場合、必ず指示に従うこと。
- (5) 短距離競技のゴール後は、競技者の安全のために自分に割当てられたレーンの曲走路を走ること。
- (6) 本競技会は SIS (スタートインフォメーションシステム) を使用しないため、スタート時の不適切行為及び不正スタートの判断は目視にて行う。

7. フィールド競技について

- (1) フィールド種目の試技は 3 回とする。
- (2) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

	種目	ピット	試技開始	
男子	走高跳	A	1m85	2m05 まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
		B	1m65	
	棒高跳	C	3m40	5m00 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
女子	走高跳	A	1m45	1m70 まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
	棒高跳	A	2m40	3m60 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み

- (3) 走高跳・棒高跳の練習の高さは当日、選手と審判員の協議により設定する。また、悪天候などの不測の事態が発生した場合は、総務・審判長・関西学連の協議により設定の高さを変更し競技を行う場合がある。
- (4) 組の中で競技者が 1 人となった場合のバーの上げ方は、本人の希望により決める。
- (5) 三段跳の踏切板の位置は、男子は 1 組 (A ピット) が 13m、2 組 (B ピット) 12m、女子は 1 組 (A ピット) が 11m、2 組 (B ピット) 10m とする。
- (6) 走幅跳及び三段跳の踏切判定には、粘土板を使用する。(ビデオカメラは使用しない)

2025 年度第 2 回学連競技会

- (7) 棒高跳の公式練習を行う際はゴムバーを使用する。
- (8) 投擲種目の公式練習は2回までとする。ただし、ハンマー投は1回とする。
- (9) 現場の審判員が許可を与えた上でコーチ席にアドバイスを聞きに行くことが出来る。しかし、審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・関西学連等で協議し対処する。(TR6.2)

8. 抗議について

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、結果が正式に発表されてから、30分以内に、その競技者あるいはチームの監督が口頭で審判長に申し出なくてはならない。
- (2) 抗議受付は、正面エントランスに設ける TIC にて行う。

9. 悪天候時等の際の対応

- (1) 競技の実施が不可能となることが予想される場合には、関西学連会長・ヘッドコーチ・競技委員長・事務局長・幹事長と陸協等で方針を協議する。
- (2) 中止となった種目のエントリー料の返金は行わない。

10. その他

- (1) 記録の正式発表は電光スクリーンにて行う。
- (2) 記録証明書の発行を希望する競技者は、正面エントランスに設ける受付に発行手数料 300 円を添えて申し込むこと。
- (3) 事前欠場者の人数により、番組編成を変更する場合がある。
- (4) 競技場内へ立ち入る際、競技場保護のためヒール等の底の固い靴は一切禁止し、アップシューズもしくはスニーカーで入場すること。学生審判・補助員も同様とする。
- (5) 競技者は競技区域内にビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を持ち込めない。(TR6.3.2) ただし、フィールド種目に出場している競技者は映像を撮影した人とコミュニケーションをとりながら録画再生機器を手にしても良い。(TR6.4.5)
- (6) 注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その学生の所属する大学の当該種目以降の競技を中止させ処罰を与える。
- (7) 大会期間中に疑問な点があれば、大会本部まで申し出ること。

関西学生陸上競技連盟